

■ 1964年東京大会の選手団長を務めた五輪の哲人の精神を継承 ■

第30回「大島鎌吉スポーツ文化賞」受賞者が決定

受賞者：岩田稔さん(元阪神タイガース)、喜多美結(デフテニス)、清水希容さん(空手)、
高野芹奈(セーリング)、野口智哉(野球)、和田伸也さん(パラ陸上) ほか

【日時】3月4日(金)13:00~15:00 【場所】千里山キャンパス第2学舎BIGホール

関西大学ではこのたび、広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残した個人・団体に贈る「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」の受賞者を決定しました。

3月4日(金)には、千里山キャンパスにて同賞の授与式を執り行います。

本件の
ポイント

- ・「五輪の哲人」と称されたOB・大島鎌吉氏に由来する本学独自の文化表彰
- ・2021年度に活躍した本学関係アスリート19人(団体)の功績を称える
- ・元阪神タイガースの岩田稔さんが受賞挨拶

今年度は、「広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人」として、本学卒業生の和田伸也さん(東京パラリンピック陸上1500m〔T11〕銀メダリスト)や岩田稔さん(元阪神タイガース)、清水希容さん(東京五輪空手女子形銀メダリスト)の3人に同賞を授与します。また本学体育会学生の部では、東京五輪にも出場したセーリングの高野芹奈さんやデフテニス世界一の実績を持つ喜多美結さんら16人(団体)を選出しました。

授与式当日は、学生代表として喜多美結さんによる挨拶のほか、岩田稔さんにも受賞の喜びや学生たちへのメッセージを各10分程度でお話いただきます。

■「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」とは

1932年のロサンゼルス五輪・陸上三段跳びで銅メダルを獲得、そして1964年の東京五輪の招致に貢献し、同大会の日本選手団の団長等を務めるなど、五輪の哲人と称された本学OBの故大島鎌吉氏の偉業を偲び、本学が1988年に創設した文化表彰制度。

<第30回「大島鎌吉スポーツ文化賞」授与式の概要>

【日時】3月4日(金)13:00~15:00 ※取材受付12:30~

【場所】関西大学千里山キャンパス 第2学舎BIGホール

【受賞者(敬称略)】 ※詳細次ページご参照

<広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人> 計3人
岩田 稔、清水 希容、和田 伸也

<顕著な成績を収めた本学学生(個人・団体)> 計16人(団体)

- ・喜多 美結(テニス部、第5回JDTA選手権大会(デフテニス)女子シングルス優勝)
- ・高野 芹奈(ヨット部、東京五輪・セーリング49erFX級代表)
- ・野口 智哉(野球部、2021ドラフトオリックス・バファローズ2位指名) ほか

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、木田、久保

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 第30回（2021年度）受賞者 ※敬称略

＜広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人＞（計3人）

氏名	所属	受賞理由
ワダ シンヤ 和田 伸也 ※当日欠席	関西大学 OB	2012年ロンドンパラリンピック 5000m(T11)銅メダル 2016年リオパラリンピック マラソン(T11-12)5位 2021年東京パラリンピック 1500m(T11)銀メダル *アジア新記録 5000m(T11)銅メダル トラックとマラソンの二刀流で活躍するブラインドランナー。大学在学中に視力を失い、28歳から本格的に競技を開始。2009年度から日本ブラインドマラソン協会強化指定選手として世界で活躍している。T11クラスの800m、1500m、5000m、10000mの日本記録保持者。
イワタ ミシル 岩田 稔	関西大学体育会 野球部OB	プロ通算200試合登板、60勝82敗。 2009年 第2回 ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)侍ジャパン日本代表(2試合に登板し、優勝に貢献。) 1型糖尿病を抱えながらもプロ野球選手として2006年から16年間にわたり阪神タイガースでプレーし、2021年シーズン限りで現役を引退。 2009年から1勝につき10万円を「1型糖尿病研究基金」に寄付する活動を継続、2017年には「岩田稔基金」をNPO法人日本IDDMネットワークと共同で設立し、研究助成を行っている。 その他にも毎年、1型糖尿病の患者さんや家族の皆さんを阪神甲子園球場へ招待、シーズンオフには交流会の実施等、様々な活動を実施している。
シミズ キョウ 清水 希容 ※当日欠席	関西大学体育会 空手道部OG	2014、2016年世界空手道選手権大会 女子形で2連覇 2013年から2019年まで全日本空手道選手権大会 女子形で7連覇 東京2020オリンピック 女子形 銀メダル 技の正確さや力強さなどを競う「形」の日本女子のエース。2013年の全日本空手道選手権大会では史上最年少の20歳で優勝し、以降の大会で7連覇を達成。これまで数々の世界大会で優勝し、東京2020オリンピック 女子形では銀メダルを獲得した。

＜顕著な成績を収めた本学学生（個人・団体）＞（計16人・団体）

氏名	クラブ名(競技名)	学部・学年	受賞大会名
※当日欠席 タカノ セナ 高野 芹奈	ヨット部	人4	第32回オリンピック競技大会(東京2020) セーリング競技 49erFX女子 18位
イチハン ショウヤ 市橋 翔哉	アイススケート部	社安4	第90回全日本フィギュアスケート選手権大会 ペア競技 優勝
ミツヤ リカ 三屋 莉歌	弓道部	法4	第45回女子東西学生弓道選抜対抗試合 西軍選抜 優勝
ウエキ スズカ 植木 鈴華	弓道部	商2	第45回女子東西学生弓道選抜対抗試合 西軍選抜 優勝
トミタ リョウタ 富田 涼太	弓道部	シス4	第67回東西学生弓道選抜対抗試合 西軍選抜 優勝
タカハシ ユウスケ 高橋 優介	弓道部	法3	第71回三十三間堂大の全国大会 成人男子の部 優勝
ヤマダ コトネ 山田 琴音	水上競技部	情1	第97回日本選手権水泳競技大会 アーティスティックスイミング競技 団体4種目で優勝
キタ ミユ 喜多 美結	テニス部	化4	第5回JDTA選手権大会(デフテニス) 女子シングルス 優勝
イリエ コウタ 入江 晃太	なぎなた部	化1	第60回全日本学生なぎなた選手権大会 公開競技個人戦 男子の部 優勝
マスマミ シゲヤ 増南 繁哉	アメリカンフットボール部	経3	全米学生オールスターゲーム「フラボウル」日本代表
※当日欠席 ノグチ トモヤ 野口 智哉	野球部	人4	関西学生野球連盟秋季リーグ戦最優秀選手。 史上31人目リーグ戦通算100安打達成。在学中ベストナイン3度受賞。 プロ野球オリックス・バファローズからドラフト2位指名
サカモト タイセイ 坂本 大星	バトントワーリング	社3	第45回全日本バトントワーリング選手権大会 ソロトワール 優勝

クラブ名	受賞大会名
アイススケート部	第94回日本学生氷上競技選手権大会 フィギュア競技 男子7・8級 優勝
なぎなた部	第60回全日本学生なぎなた選手権大会 公開競技団体男子の部 優勝
剣道部	第69回全日本学生剣道優勝大会 61年ぶりに3位入賞
拳法部	第66回全日本学生拳法選手権大会 2年連続男子・女子団体準優勝

■ 過去の主な受賞者（関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞）※敬称略

- ＜本学体育会会員のうち、顕著な成績を取めた本学体育会学生（個人・団体）＞
 高橋大輔、町田樹、宮原知子（いずれもフィギュアスケート）、清水希容（空手）、
 前川黛也（サッカー）、八川綾佑（射撃）、高野芹奈（セーリング）、坂井隆一郎（陸上）
- ＜広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残した個人または団体＞
 片倉道夫（1964年東京五輪閉会式ディレクター）、平尾誠二（ラグビー）、
 荒木香織（元ラグビー日本代表メンタルコーチ）、市口政光（レスリング）、
 佐藤信夫（フィギュアスケート）、古川好男（サッカー）、山口高志（野球）

■ 大島鎌吉（おおしま けんきち）＜1908. 11. 10－1985. 3. 30＞

関西大学校友（1934年法学部卒）。陸上選手。JOC 名誉委員。
 大島鎌吉氏は、昭和初期に本学陸上部が第一期黄金時代を迎えたときの主将で、大学在学中にロサンゼルス五輪（1932年）で銅メダルを獲得。続くベルリン五輪（1936年）では、選手団の主将として出場し、6位入賞の成績を残した。
 選手活動を終えた後は、毎日新聞社の記者としてベルリン特派員を務め、ヒトラーとの単独記者会見やベルリン陥落など、歴史的な場面にも遭遇した経験を持つ。戦後は、東京五輪の選手強化対策本部長や日本選手団団長なども務め、1982年には青少年教育や国際交流を推進した功績により、アジア人初となる「オリンピック平和賞」を受賞した。



＜関西大学年史編纂室提供＞

以 上